

[もくじ]

- みなも5周年!・・・1
- 新みなもの間取りについて・・・
- みなものよいと思う点について・・・
- 不登校親の会「まんま会」から
- 「えっ、どうしてうちの子が?」・・・
- みなも運営レポート・・・
- ◆ みなもかわらばん・・・
- ◆ 編集後記・・・12

■ みなも5周年!

代表：今川将征

フリースクールみなもが始まったのが 2004 年 11 月…。なんだかんだで5周年を迎えてしまいました☆(´□´)；

いろんなことがあったようななかったような5年間。ちょっとだけ振り返ってみようかな。

成り立ち

始まりは西宮のフリースペース宙そら(現・神戸サドベリースクール)。2004年の春、宙でボランティアをしていた有志から。「新しいフリースクールを作りたい!」と集まったのが今でも現役の今川・松浦・中村有美・上船ら7名。しかし思いはあってもお金が足りない…。そこに物件と初期費用を提供してもよい、と申し出てくれたのが宇陀うだ。こうしてスタッフ・場所・費用が揃って立ち上が

ったのが「フリースクールみなも」。構想から半年、途中かんかんがくがくと会議を重ね、晴れてスタートとなりました☆

始めの半年…

とはいえ、スタート時から子どもはたった一人。本当に集まるのかもわからないままのスタート。その後もしばらくは2,3人の状態が続いた。家賃の支払いもあるし、そろそろまずいかも…、と思った半年後、2人の男の子と1人の女の子がポンポンっと入会☆ みなも始めの危機を脱したわけです。



どんなフリースクール?

そんなわけで少しにぎやかになったみなも。少しフリースクールらしくなってきた、フリースクールとしての特徴も出てきた。

・日常生活をまったりと

たぶん他のフリースクールに比べるとイベントごとは少なめ。日常の生活を大切にする感じですね。その流れは今なお受け継いでいます。ただ、

今は当時に比べるとイベント事が増えているように思います。春秋はテニスをしたり、夏の海水浴と冬のスキーは恒例行事になっています。

・ちょっとマニアック??

スタッフの特徴なのか、初期からいたの子ども達の特徴なのか、アニメ・ゲーム・声優などに詳しい子ども達が多いです。

新戦力！

大きな出来事といえば、2006年5月、中居史ふみの加入ですね。週3回のボランティアを経て、有給スタッフへ。今川・松浦では若干スタッフが不足していたので、大いに助かりました☆ 現在のみなもの原型は、これで完成したと言ってよいでしょう。

転機・引っ越し！！

そんなこんなで、気がつけば20人を越える子ども達がみなもに来るようになり、一日あたりに子ども10人、大人5人…。2LDKのふじビルではもう限界！ というわけで、引っ越し先を探すようになったわけです。

しかし、それがなかなか大変。何しろ条件が「南森町から離れない」「住居用でフリースクールをしてもよい」「4LDK」「15万円程度」…。うん、そう簡単に見つかるわけありませんね(-.-

探すこと1年、ようやく見つかったのが現・東寺町ビルです。長く探したかいもあり、いい物件が見つかったと思います☆

サポート校の導入へ…

そして今年……、4月より、みなもは新たに「高卒資格取得（サポート校）コース」というシステ

ムを導入します。



引っ越しの準備風景

これは、レポート（問題集のようなもの）をこなし、あとは年に数回程度学校に行って最低限の授業と、試験を受けていけば高校卒業資格を得ることができる「通信制高校」に入って、ただしレポートなどはその通信制高校とは別の場所（それが「サポート校」と呼ばれます）でサポートを受けながらこなしていくという方法です。

みなもの場合には「つくば開成高等学校」というところと連携することで、基本的にみなもに来てレポートや試験を受けるだけで（ただし年に数回だけ、授業を受けに行く必要があります）、3～4年で高校卒業資格が得られるようになります。年度途中でこのコースに入ったり、あるいはすでに他の高校に行っていた分の単位や高校卒業認定試験で受かった分の単位はもう取っているものとしてカウントすることも可能です。

この4月から、4人の子どもがこのサポート校コースに通うことになりました。このコースの設置によってみなもを利用する中で獲得できるものの選択肢が大きく広がった事と思います。

ここまで、遅い歩みではありますが1歩1歩、少しずつ前に進めた5年間だったと思います。これからも焦らず、じっくりと成長していきたいと

思います。これからもフリースクールみなもを、どうぞよろしくお願い致します。

■ 新みなもの間取りについて

副代表：松浦 豊

卒業



この 2010 年 4 月から大学や専門学校へ進むためみなもを卒業する子がいたため、今回は区切りということで卒業式をやることになりました。レモンタルトやお菓子などを用意して、その時来ていた子やスタッフらが 1 階に勢揃い。19 人もいて、さすがに狭い(^_^;) みんなでおめでとー！と祝いあって、代表お手製の卒業証書↓



を渡す式をしました。

フリースクールからの進路は色々ですけども、すべての若人に幸あらんことを！

旧みなも（西天満）が手狭になり、新みなも（与力町）に引っ越してもう 1 年が経ちました。

今回は、旧みなもと新みなもの違いについてと、その中で子ども達の普段の様子や新みなもへの感想などを書いていってみたいと思います。

まず位置。市営地下鉄の南森町駅が最寄り駅なのは変わりませんが、旧みなもが南森町駅から北西の方角にあったのに対して、新みなもは北東の方向になりました。南森町駅のメインの改札からの距離はほとんど変わらないのではないかと思います（共に 5 分くらい）が、南森町駅の北側の改札からも近くなりましたし、駅からの時間が短縮された子が多いようです。特に、（南森町駅に隣接してある）JR 東西線の大阪天満宮駅は東側にあるので、JR 線利用の子にとってはより近くなった感じです。

また、京阪電車の京橋駅や、JR 大阪環状線の天満駅にも旧みなもからはより近くなったため、10～15 分程度かかりますがそちらで来る人もいます（以前もごく少数はいたのですが、普通に選択肢に入ってきた感じです）。

みなもへの道筋は激変しました。新みなもへは多くの場合、天神橋筋商店街（日本一長い商店街で、時々テレビ中継している様子を見たりもします）をほぼ通ってくることになるため、にぎやかな感じですし、また、雨でもみなもまで 8 割方傘無しで来られます。商店街の中にはいろんな店があって、みなもで使うトイレトペーパーなどをいつも買わせてもらっている安い薬屋さんや、あるいは古本屋さんがいくつも、また 100 円ショップもすぐ近くに 2 つあり、また旧みなもの時から



みなもの子が行っていた安めのカラオケ屋さんとはなんと徒歩1分の近さに！ コンビニへは旧みなもの時よりも少し遠くなった気がしますが、ファミマやセブンイレブンなど選択肢は多くなりました。みんなが一番近いファミマよりは、ほんの少し距離のあるセブンイレブンへ（品揃えが良く、お弁当が美味しいそうです）行っているようで、学校のある時間帯に小中高生くらいの子とスタッフ（大人）が毎日毎日来るので、不思議がられもしているようですが、また顔なじみにもなっている感じです。コンビニ以外にも、商店街の中にある100円ローソン（安い！）に行く人も多いです。

みなもへの道筋で商店街から東に折れる道に入ると、途中にはコピー屋さん（1枚5円の安さ！）、銭湯（旧みなもの時にもお泊まり会の時にお世話になったりした銭湯です。もっとも、ずっとこの銭湯の存在を知らず、もっとかなり遠くの銭湯へ

ぞろぞろとずっと行っててみんな湯冷めしたりしていたのですが……）、パン屋さん、イタリア料理の店、カレー屋さんなどがあり、小さい飲み屋さんとお寺に挟まれた場所に新みなものがある、という感じです。堀川戎神社のえべっさんの時には、ちょうどこの道までが屋台の出る端になります。えべっさんの時には人がたくさん通ります。



みなもの東側はお寺がたくさん並んでいる通りで、先日お彼岸の日にこれまた多くの人 came ました。特にお隣の善導寺の境内からみごとな桜の木がみなものすぐ隣にあって、春にはすごくきれいです。この善導寺には江戸時代中期の学者の山片蟠桃という人のお墓があります。山片蟠桃は司馬遼太郎氏の提唱で大阪府から山片蟠桃賞というような賞も出ている、大阪の知られざる偉人です。興味のある方はぜひ調べてみて下さい。

新みなものについての子供達の感想は、聞き取り調査をしたところ、「基本的に良いと思う」という感じでした。単純に部屋数が増えて広がったので、旧みなものよりも「狭くてたまらん〜！」という事はほんと少なくなりました。みんなそれぞれの部屋を有効活用しています。実際、20人近くいても、まだなんとかなります。もっとも、10人くらいしかみなも全体にいないと、ほぼ全員が1階にいる……なんていう場合がまれにあって、その時は「狭い〜」とか言ってますが、それならみんな分散しろ〜。

ただ、大阪市ボランティア情報センターさんが

始めた「NPO や企業同士で不要品などをお互い有効活用していくための情報のつなぎをやりますよ」という「大阪市地域貢献活動マッチングシステム Com link・こむりんく」

(<http://comlink.weblogs.jp/home/>) というのがありまして、そちらで、みなもで不要になった靴箱を此花区の老人ホームさんが喜んで引き取ってくれたりという様な事がありました。まだその1件しかみなもではできていませんが、そういう横のつながりをいろんなところと取っていったらと思っています。

■ みなもの良いと思う点について

(ある会員から原稿がもらったので、掲載させていただきます)

みなもの良い点を考えて真っ先に思い浮かぶのは、何事も強制されないということです。

実際に、歴代みなも通信には、フリースクールではありがちな「会員たちの声」のようなものはあまり掲載されていないと存じます。これも、みなもの感想を書くことを会員に強制しないがゆえのことです。(この文章は、私がみなも通信を見ていてふと思い立ち、拙文ながら筆を執らせていただいたものです)

私は来年大学への進学を目指している浪人生なのですが、親から「勉強しいや」「ほんまに来年受けるんやろな？」と言われる度に心苦しく、肩身の狭い気持ちになります。家ではよく聞くそんな言葉が、みなもにはありません。

強制されて勉強させられるのではなく、「自分が勉強することを選択する」からこそ、勉強してそれを身につけてみせる、という気が起きるので、みなもは強制しないということによって、それを教えてくれました。

R.M

■ 不登校の親の会「まんま会」から

まんま会 担当：中村有美

子どもが不登校の親の会(みなものまんま会、通称「まんま会」)も始まって5年目となります。2009年度はのべ91名の参加者があり、毎年参加者が増えてきています。大阪府では公立小中学校で8500人を超える(平成20年度)不登校の子どもたちがいます。不登校の子どもの数の多さを考えると、まんま会への参加者が年々増えるというのは、子どもが不登校になった時の相談先として、ある程度認知されるようになってきたのか、参加しやすい雰囲気ができてきたのかとも思えます。ともあれ相談先を必要とする人が絶えないというのは、いまだ子どもたちの現状が改善されていないように思い、良かったとは言えませんが、少なくとも、保護者が一人で子どもの不登校を抱え込まなくてもよくなってきたとも考えられるのかと思ひ、5年間活動してきて良かったと思ひます。

ここに至るまで、たくさんの方々の応援やサポートなくして継続することができませんでした。その中でも富田林市で活動をしている「結空間(ゆいくうかん)」の中尾さんなくして今のまんま会はなかったと思ひます。まんま会は毎月第3土曜日の2時から5時と、月1回の開催とは言え、遠方からはるばる親の会参加者のサポーター(アドバイザー)としてまんま会を支えてくださっています。そして、その他、協力なサポーターとなるのは、まんま会卒業生です。まんま会にも卒業があります。とはいえ、参加者である保護者自信が「私もそろそろ卒業です」と宣言して出ていかれるということで、サポートする側が決めるものではありません。卒業した後も、卒業生が時々様子を見にまんま会へ来てくださいます。時には、こちらから「来てもらえないか」とお願いするときもあります。そんな時快く引き受けてくださるのが、今回文章を寄せてくださった坂山さんです。今回

も文章を書いていただけないかお願いし、快く引き受けてくださいました。まんま会では卒業生の存在はとても大切です。経験を語り、今まさに悩み続けている保護者の気持ちを共有することができる存在です。

そんな卒業生からの紀行文を、みなも通信でみなさんにお送りすることができるというのは、何よりもうれしいことです。

「えっ！どうしてうちの子が？」

坂山園枝

中1の秋、精神的に不安定になり、もちろん学校にも行けなくなり…それが始まりでした。彼は、そのことが社会の枠からはみ出す許せない行為と、自分を責めて苛立ち、不安を感じて怯え、凄く速度で真っ暗な穴の底に落ちてしまいました。目つきが変わり発する言葉は「畜生！」の繰り返し、その苦しみを物や家族にぶつける事もできず、自分の中にため込み、彼の姿は、怒りと恐怖と悲しみと自己嫌悪が固まってできたい物体のように見えました。

私はこんな状態が一生続くのかと将来に対して悲観的になり、『これが夢で、目が覚めたら元の状態に戻っていらいいのに！』と、どれほど思った事でしょう。『でもこれは現実』、そう腹を括りました。

『ありのまま受け止め、すべてを許して受け入れ共に居る事が、大事！』と聞き、そうしました。でもそれは、そう簡単な事ではありませんでした。私自身が受け止めきれず、爆発したり、間違ったり、受け止め方が分からず苦しんだりの繰り返しでしたが、息子は少しずつ落ち着きいい方向に変わって行きました。

中2の夏、みなもとの出会いが、さらに救いの

場となりました。息子は、社会参加の機会と居場所ができ、外に接する勇氣と自信に繋がっていききました。一人で抱える事に疲れ精神的に限界で自信もなくしかけていた私は、的確なアドバイスと、同じ立場で苦しい思いを共感してもらえた事で、元気を取り戻し、前に進んで行けました。まんま会が私の丸ごと受け止めてくれる場所だったのですね。受け入れられることで、自信とエネルギーが湧いて来ると言う事を、身をもって経験しました。彼は、その後一気に元気になり突然中3から学校に行き出し、その後も幾度も壁にぶつかりながら今は高校3年生、春からは大学生の予定です。

学校に行ける事がゴールではなく、その子の持った気質で様々な問題事が起きてきます、今思えば、この事は彼が成長するための通過点だったと思えます。こどもは本能的に何かから身を守るため殻にとじこもります、又その殻を自力で破り成長する力は、想像を絶するものが有ると思いました。その成長の可能性を信じて、これからも、彼を見守り育てていきたいと思っています。

(2010年1月執筆)

● みなも運営レポート

こんにちは、今川です。今回はちょうど年度の切り替わりなので、2009年度の運営状況をお知らせします。

2010年3月時点での、一ヶ月の主な収支は以下ようになります。

1ヶ月の主な収支

収入		支出	
利用者月会費	516,500円	スタッフ報酬	238,000円
		家賃	157,500円
		水道光熱費	17,317円
		交通費補助	39,676円
		電話代	1,829円
		インターネット	7,077円
		消耗品費	24,962円
	516,000円		486,361円

※利用料月会費は2010年3月実績。

※支出はスタッフ報酬、家賃、インターネット代は固定。

それ以外は2009年度の月平均。

昨年度同時期と比べ、月会費収入は10万弱の増加。一方の支出もスタッフ報酬を増加し、収支共に額面は大きくなっている。消耗品が前回より大幅に増加しているのは、エアコンを2台増加したことなど、引っ越しに伴う備品の購入が主な要因であり、次年度には少々落ち着くだろう。

2009年度のスタッフ報酬は、今川・松浦が85,000円、中居が68,000円。2008年度が56,000円、47,000円であったことを考えると大きな進歩だろう。また、サポート校コースの導入もあり、2010年度はもう少し増額が可能である。一般的な額よりはまだまだ少ないものの、今川・松浦は一応生活の立ちゆくレベルにまで増額できたことは嬉しく思う。

ただし、次年度以降、まだまだ予断を許さない状況は続く。額面こそ増加している（フル会員の密度は高まっている）ものの、2009年度は会員の人数は変わっていない。運営の安定化へは、さらなる精進が必要となるだろう。

◆ みなもかわらばん

➤ ありがとうございます

2009年度の間に、いただいた活動資金や物品のご支援は、下記の通りです。ここに記して、感謝申し上げます。

・書籍…4名の方々から多数（特に『社会不安障害のすべてがわかる本』というのが、スタッフや会員からもひっぱりだこでした）
・家具多数、ふとん、パソコン2台…匿名希望様
・自動麻雀卓…会員の保護者様
・遊戯王、デュエルマスターズなどカード…卒業した子どもより

➤ 賛助会員・カンパのお願い

フリースクールみなもは、不登校の子どもたちのための、学校に代わる居場所と学びの場を設け、不登校の子どもを持つ家庭への総合的な支援を行

うことを目指して、有志によって設立されたNPO法人（特定非営利活動法人）です。子どもたちやその保護者・家庭にとっての支えとなるべく、スタッフ一同、活動の充実に日々努めています。

しかしながら、もとより営利を目的とした事業ではないので、こうした資金だけで行える活動には、限りがあります。そこで、みなもの活動を応援して下さるかたには、賛助会員への応募をお願いしています。賛助会員の皆さまには、「みなも通信」をお送りさせていただきます。

賛助会費のお支払いは、スタッフに手渡し、または郵便振替で。郵便振替の場合は、「氏名」「住所」「電話番号」「費目（賛助会費として）」「会報への氏名掲載の可否」を備考欄に明記の上、下記の口座まで、お願いいたします。

【賛助会費】1口 3,000円/年（複数口のご応募も歓迎）。振込先：00960-0-204146（加入者名：フリースクールみなも）

➤ 譲ってください！

現在、必要としているのは、下記の通りです。ご家庭にあるもので、現在お使いになっていないものがありましたら、みなもまでご連絡ください。（それ以外にも、フリースクールの活動に役立ちそうなものがあれば、ぜひご一報ください）。

【必要なもの】グローブ/練習用のドラムセット/ベース/アンプ/録音周辺機器（ケーブル、ミキサーなど）/自転車/いらなくなった教材/書籍/硬式テニスのボール/各種文房具・事務用品/切手など

➤ ボランティア募集！

フリースクールみなもでは、ボランティアを募集しています。ボランティアをするにあたっては、特に必要な資格などはありません。子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしたい、という気持ちがあればOKです。ご関心をお持ちの方は、お気軽にみなもまでお問い合わせください。

➤ 「まんま会」のご案内

フリースクールみなもでは、毎月第3土曜日に「みなものまんま会」（不登校の子を持つ親の会）を開いています。「まんま会」は、不登校のお子さんを持つ保護者の皆さんに、お互いの気持ちを共有し合える場を提供することを目指した会です。みなもの会員であるかどうかにかかわらず、どなたにでも参加していただけます。参加をご希望の方は、ぜひお気軽にお問い合わせ下さい。

【概要】 日時：毎月第3土曜日の14:00～16:30、
場所：フリースクールみなも、参加費：300円（お茶菓子代として）、アドバイザー：中尾安代さん（みかんさん＝結空間代表）、担当スタッフ：中村有美

➤ ブログ・掲示板のご紹介

みなもでは、日々のようすを写真付きでブログに書きつづっています。みなも内のようすや外出した時の話、みなもの中で話題になったこと、それから「まんま会」のようすやシンポジウムなどに関する事なども書いたりしています。

また、みなものホームページでは、2つの電子掲示板（BBS）を設置しています。このうちの1つ、「不登校・フリースクールなどについて話しましょう」掲示板で最近取り交わされているのは、以下のような話題です。「子どもを頼ることの必要性」「自分はダメだ？」「いじめ対策レジュメ」「先生、ビンタはむかつくぜ!」。もしよろしければ、一度ご覧ください。書き込みもお気軽にどうぞ。

◆ スタッフひとこと

最近覚えた遊びは「ポケモン」。子ども達に教えてもらいながら、育成してます☆（今助）▼某ボードゲーム雑誌の編集長からナポレオン関係のゲームを作ってくれと頼まれて、関係洋書を読んだりしてます（でっせむ）▼道ばたで小学生らしき子のテストを拾いました。一応目立つ所にまた置きといたんですが…。100点のテストを無くすとは!!!!（なかい）▼「みなも」のあるふじビル

の一階に、薬膳カレー「王様のスプーン」が開店、結構通ってます。薬効スパイス沢山！汗をふきふき心地よい辛さ！お蔭でこの冬は風邪をひいても薬いらず☆（くらら）▼大学1年の夏からボランティアを始め、この春、卒業。みなもと一緒に過ごした大学生活でした。（マイヤ）

◆ 編集後記

本当に久しぶりのみなも通信です。ご支援いただいている賛助会員の方々、ご寄付をいただいた方々を始め、皆様には活動の報告が大きく遅れてしまったことをお詫び申し上げます。（中村祥規）

『フリースクールみなも通信』第7号

発行日：2010年4月10日（本号8頁）

発行者：特定非営利活動法人フリースクールみなも（理事長・今川将征）

編集担当：松浦 豊

○特定非営利活動法人 フリースクールみなも
（2005年6月15日認証＝大阪府指令府活第2-58号）

会員（利用者）：23名（2010年4月現在）

代表：今川将征（理事長）

スタッフ：常勤3名（ほか非常勤数名）

オープン日：2004年11月1日

住所：〒530-0036 大阪市北区与力町2番8号
東寺町ビル1F（地下鉄「南森町」駅から徒歩3分、
JR東西線「大阪天満宮」駅から徒歩3分）

電話・FAX：06-6881-0803

対象年齢：6歳～20歳（入会：18歳まで）

活動時間：月曜日から金曜日の11時～20時

入会説明会：随時（体験入会は無料、4週間）
